

『日本の漁村・水産業の多面的機能』

山尾政博・島 秀典 編著

A5判/250頁/定価3,000円+税 ISBN978-4-89290-020-4

多面的機能!
執筆者11名が論じるその方向と位置付け。

執筆分担者

- 序章・終章 山尾政博 (広島大学大学院 教授)
- 序章 久賀みず保 (鹿児島大学 助教)
- 1章 山下東子 (明海大学 教授)
- 2章 島 秀典 (鹿児島大学 教授)
- 3章 家中 茂 (鳥取大学 准教授)
- 4章 鹿熊信一郎 (沖縄県八重山支庁 主幹)
- 5章 磯部 作 (日本福祉大学 教授)
- 6章 鳥居享司 (鹿児島大学 准教授)
- 7章 若林良和 (愛媛大学 教授)
- 8章 赤嶺 淳 (名古屋市立大学 准教授)
- 9章 遠藤愛子 (海洋政策研究財団 研究員)



序章 漁村・水産業の多面的機能と
地域資源利用の多元的戦略

- 1.多面的機能論への接近
- 2.多面的機能論の背景と枠組
- 3.多面的機能論をめぐる諸論点

第1章 水産基本計画・

海洋基本計画と多面的機能

- 1.はじめに
- 2.水産政策における多面的機能論の展開
- 3.水産基本法・基本計画と多面的機能
- 4.海洋基本法・基本計画と多面的機能
- 5.おわりに

第2章 水産業及び漁村の

多面的機能と水産物自給

- 1.はじめに
- 2.水産業及び漁村の多面的機能
- 3.多面的機能をめぐる議論
- 4.離島漁業再生支援交付金制度の概要
- 5.離島漁業再生支援交付金制度の検証
- 6.多面的機能政策の今後の課題
—水産物自給の視点から—

第3章 自然の資源化過程にみる

地域資源の豊富化

—沖縄県座間味村および恩納村の事例から—

- 1.はじめに—自然の資源化過程への注目
- 2.座間味—自然の資源化をつうじた
地域資源の豊富化
- 3.恩納村—資源管理をつうじた
地域社会の再編

4.おわりに

第4章 サンゴ礁海域における

海洋保護区 (MPA) の多面的機能

- 1.はじめに
- 2.調査方法

- 3.MPAの多面的機能
- 4.MPAの設定方法と面積
- 5.MPAの多様性
- 6.おわりに

第5章 多面的機能を活かした

水産業・漁村地域体験の
状況と漁業者の社会的貢献

- 1.はじめに
- 2.水産業・漁村地域の多面的機能と
水産業・漁村地域体験
- 3.全国の水産業・漁村地域体験の状況
- 4.沖縄県における水産業・
漁村地域体験の状況
- 5.佐賀県における水産業・
漁村地域体験の状況
- 6.北海道における水産業・漁村地域体験
- 7.水産業・漁村地域の多面的機能
から見た水産業・漁村地域体験
- 8.水産業・漁村地域体験の効果
- 9.水産業・漁村地域体験の課題
- 10.水産業・漁村地域体験と
漁業者の社会的貢献
- 11.おわりに

第6章 漁業の担い手育成と多面的機能

- 1.はじめに
- 2.長崎県対馬市「トコの華生産者協業体」
- 3.沖縄県石川市・宜野座村漁協
「石川・宜野座定置網協会」
- 4.おわりに

第7章 水産業・漁村の多面的機能と食育

—「ぎょしょく教育」を通じた
地域資源と地域協働の重要性—

- 1.はじめに
- 2.多面的機能と食育
- 3.「ぎょしょく教育」の展開
- 4.教育コンテンツとしての魚食文化
- 5.地域ネットワークと協働化
- 6.おわりに

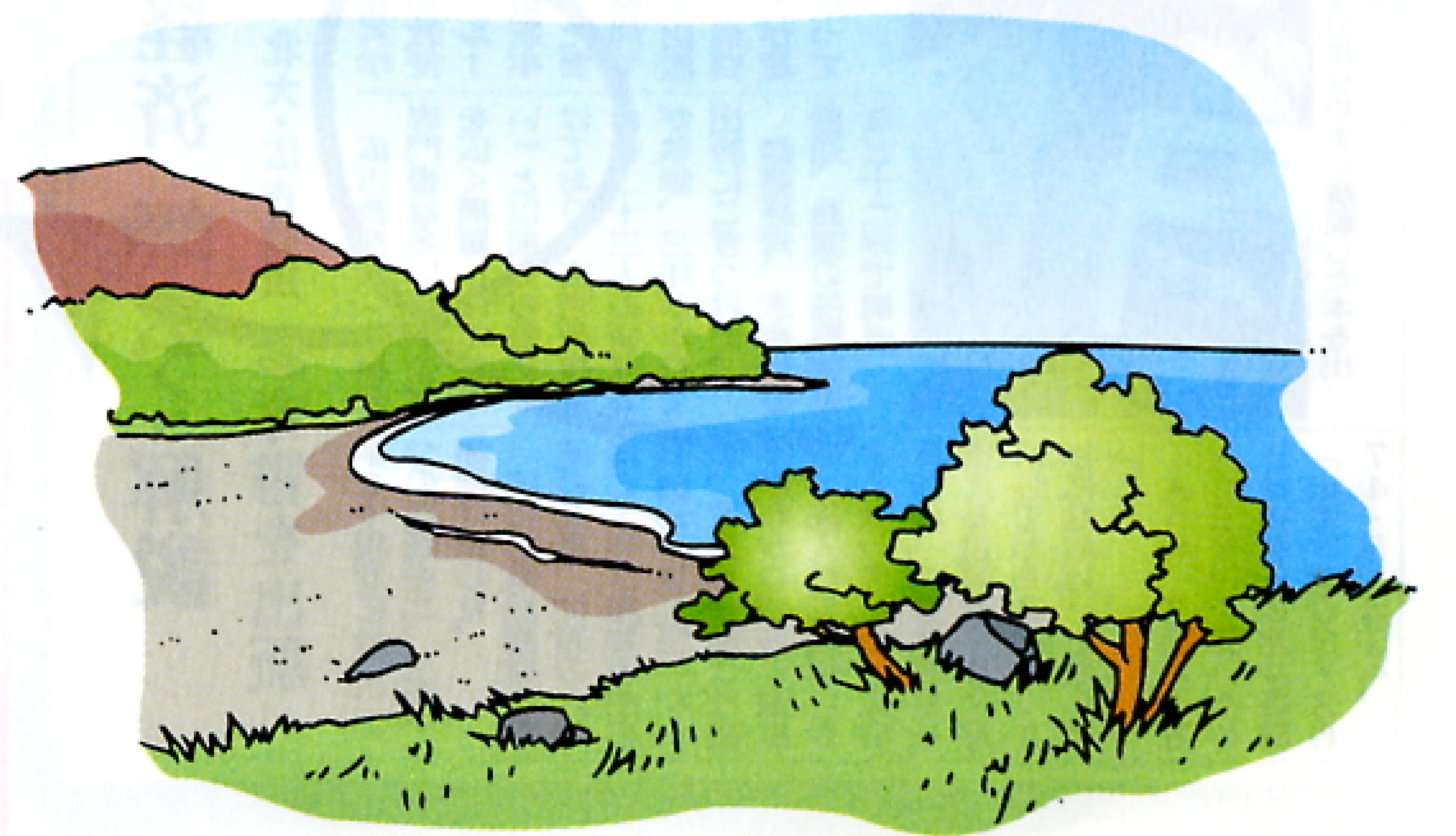
第8章 サンゴ礁域の多面的利用

- 1.はじめに
- 2.ナマコ戦争の舞台裏
- 3.ヌーベル・シノワーズと刺参ブーム
- 4.沖縄でのナマコ利用とシカクナマコ
- 5.おわりに

第9章 変容する鯨類資源の利用実態

—沖縄県名護ヒートゥ漁を中心として—

- 1.はじめに
- 2.沖縄県突きん棒生産流通構造
- 3.中央卸売市場における鯨肉取扱いの特徴
- 4.ヒートゥ鯨肉消費の実態
- 5.おわりに



ご注文方法 ● 全国の書店でご注文いただけます。
普段お使いの書店にてご注文下さい。
以下の注文書をご活用下さい。

▼お問い合わせは以下の電話・FAXをご利用下さい。

● 電話 03-3674-5241

● FAX 03-3674-5244

北斗書房

●冊数

●新刊 [2009.2.20発行]

日本の漁村・水産業の多面的機能

山尾政博・島 秀典 編著

定価●3,000円+税 ISBN978-4-89290-020-4 C3062

●ご担当者

●電話番号

●注文日